

長浜教区 宗祖親鸞聖人 御誕生850年・立教開宗800年
 慶讃法要 お待ち受け大会

日時 5月22日(日)13時より
 会場 長浜別院大通寺 参加費500円
 記念講演 伊藤元氏(九州教区 徳蓮寺前住職)
 慶讃法要テーマ



南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう
 一真の朋友との値遇を求めて一

組門徒会研修会報告

3月12日(土)午後2時から、明徳寺(木之本町黒田)において、長浜教区主催の「組門徒会研修会」が開催されました。組内30ヶ寺から門徒会員37人、住職等7人が出席されました。

組門徒会員は、3年任期の間に6回の研修を受講していただくことになっていますが、今回は第2回目で、講師は第1回目と同様、春近寛氏(14組・皆念寺前住職)でした。

廣部門徒副会長の司会の下、真宗宗歌斉唱の後、山岡門徒会長が挨拶され、続いて講師から教区で作成されたテキストを基に、「お寺はだれのものですか?」と呼び掛けられ、組門徒会員が誕生した経緯や願いを話されました。又、具体的取り組みとして、役員の方選、月例役員会の開催、同朋会の充実などを挙げられ、組門徒会員の代表者としての自覚と実践を促されました。

講義が終わった後、班別座談会が行われ4班に分かれて熱心に討議されました。班別の司会や記録は、門徒会役員が務められ各班とも活発な意見が出て、有意義な情報交換の機会となりました。座談会の後班別発表があり、それを受けて講師のまとめの講義がありました。最後に講師から、「真宗門徒でよかった」と言える人となってほしいと、私たちに大きな課題を投げかけられました。コロナ禍の中でいろいろ心配することもありましたが、とても暖かい1日となり、無事に開催できたことを喜んでおります。恩徳讃を斉唱して、午後5時過ぎに散会となりました。

4月16日(土)には、木之本ステックホールで第3回目の「組門徒会研修会」が午後7時から開催され、住職4名、組門徒会員36名が参加されました。講師に春近寛氏をお迎えし、親鸞聖人のご生涯と教え、本願寺の成立、蓮如上人と真宗再興、東西分派、相続講制度と両堂再建等のお話をお聞きしました。(取材・広報部)



人生における苦しみは すべて如来の励ましである

真宗大谷派 長浜教区 5・6月号

第24組 広報

発行日
 2022年5月1日
 第207号
 発行責任者
 組長 熊野 俊史

組同朋大会のご案内

日時 2022年6月12日(日)午後1時30分 会場 木之本スティックホール
 テーマ 寺をともに創る「共創」
 目的 組および組内寺院の取り組みについて交流し、新しい教化の方向を見出す。
 講師 速水 馨氏(本山教育部長)
 参加対象 各寺住職・坊守・門徒役員・婦人会役員・門徒および組教化委員
 日程
 13:30~13:45 開会 (真宗宗歌・開会挨拶・趣旨説明)
 13:45~14:05 明楽寺の発表
 14:05~14:25 びっくり仰天講座の報告
 14:25~14:45 組婦人会同朋会の報告
 14:45~15:00 休憩
 15:00~15:20 教区育成員研修会の報告
 15:20~15:50 講評・指導
 15:50~16:00 諸連絡・閉会



尚、当初予定しておりました組混声合唱団「山河サンガ」の結成5周年記念演奏会は中止にします。コロナ感染収束状況を見て、新年度に改めて計画いたします。

組青少年部 第24組 お寺探検

みんなで両別院にお参りして、探検しながらいろいろなお寺をさがしましょう

日時 5月15日(日)13時~17時 会場 五村別院・長浜別院等

持ち物 念珠・勤行本・水筒・帽子・ハンカチ・時計・筆記用具

交通手段 集合場所からバスで移動します。

既に申し込み(4月28日締め切り)された方は、集合場所・

集合時間など確認をお願いします。

お問い合わせは、各寺か妙覚寺(藤直子・0749-85-2697)まで。



真宗大谷派 長浜教区第24組 ホームページ
<http://nagahamakyoku24.main.jp>

犬は犬らしくないことはしないが 人間は人間らしくないことをする

各寺の行事紹介

* 届け出寺院のみ掲載

寺院	法座名	日時	法話者
浄教寺	永代経	6月5日(日) 10時・13時30分	澤面宣了氏
円行寺	ご巡在	6月4日(土) 13時 *天野忠氏宅	住職
妙覚寺	永代経	6月11日(土) 10時	充滿寺住職
樹徳寺	永代経	6月4日(土) 10時・13時30分	住職

◆組婦人会員の選定及び報告について◆

本年6月30日をもって現組婦人会員の任期が満了いたします。
新代表(2名)を選定し、5月20日までに組長まで、ご報告くださるようお願いいたします。

教区「育成員研修会」Eブロック 報告

教区主催の「育成員研修会」が、去る4月3日(日)午後1時30分より、来入寺(木之本町千田)において、開催されました。Eブロックは、第23組、第24組、敦賀組の住職・坊守等寺族が対象で、22名が参加しました。長浜教区教化委員会からは、教学教化副幹事の新田専信氏等3名と永井教区駐在教導等2名が同席されました。この研修会は、育成員(住職等)としての仏法を依り処として生きていく意義をいただき直し、主体的な眼を養うことを願いとしています。

具体的には、「お寺や世の中を取り巻く現況の確認や今後の展望」について組間交流と課題共有を図るとともに、「僧侶の姿勢と生き方」を学び「自身の課題として考えていく姿勢」を養うことを目的にしています。

藤森千春教区教化本部専任委員の司会の下、開会行事が進められ、その後新田教区教学教化部門副幹事から発題がありました。それを受けて、3班に分かれワークショップが開始されました。問題提起に共感したこと、また、疑問や不安に思ったこと、そして、新たな展望などの意見などを付箋に書き模造紙に張りながら意見交換や交流を深めました。3つの班は世代別に分けられ、班別の発表も世代の違いを感じさせられる内容となっていました。

全体討議では、世代間で質疑応答が繰り返され、とても新鮮な感じを覚えました。お寺を取り巻く危機的な状況を感じている私たちが、少なくとも課題を共有して交流が深められ、大きな成果を生んだ有意義な研修会であったと思います。今後何回か開催される予定ですが、こうした研修の輪が広がっていくことを願っています。今回は敦賀組がコロナ感染拡大の影響を受け不参でしたが、次回はご一緒できることを期待いたします。(取材・広報部)



蟻は密を見つければ集団に持ち帰るが 人間は一人でこもり食べようとする

びっくり仰天講座に40人が参加

去る3月26日(土)午後7時より、木之本ステックホールで24組社会部会並びにプロジェクト24の共催で「びっくり仰天講座」が開催されました。3年前から毎年企画されていた事業で、その都度コロナ感染拡大で延期になりようやく今回実現の運びとなりました。

講師に、難波教行氏(真宗大谷派教学研究所助手・大谷大学非常勤講師)をお迎えし、「なぜ葬式は必要なのか」をテーマに研修しました。

開会行事では村田利文社会部幹事から趣旨説明があり、その後40名の参加者が4班に分かれてグループ討議をしました。テーマが身近な問題であり各班では活発な意見が出ました。

昔と違って、葬儀事情も様変わりし、コロナ禍の中にあつて「家族葬」が当たり前のようになり、悔やみうけがなくなったりお見送りができなかつたり、寂しい葬儀になっているとの声が多くありました。「いったい何のために葬儀をするのだろうか」というテーマに沿った話し合いがなされました。



会場の木之本ステックホール

班別座談の後、講師からは、レジュメを準備していただき、法然上人の葬儀や岡部宏生氏(NPO法人境を越えて・理事長)の言葉をご紹介され、葬儀の大切さを教えてくださいました。特にお話の中で「葬儀とは、亡くなった人との関係を見つめなおしていくこと」と教えてくださったことが印象的でした。最後に神田プロジェクト24会長から閉会のあいさつがあり、午後9時過ぎに散会しました。(取材・広報部)

五日会連続講座のご案内

〔慶讃法要テーマ〕南無阿彌陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

◆ 第3回 6月6日(月) 講題「ただ念仏のみぞまことにておわします」

講師 結柴 依子氏(奥羽教区・秋田県西組・浄専寺)

* 会場は五村別院本堂 午後2時より * 聴講料 500円

「共学研修院」公開講座

講師 黒田進氏(14組・満立寺)

* 第5回 6月3日(金) 参加費無料

時間は午後7時から午後9時 会場—大谷会館講堂(長浜教務所)

ご参拝・ご出席いただく場合はマスクの着用をお願いします。

コロナ感染拡大の状況によっては、急遽中止される場合がありますので、お問い合わせいただきご確認をお願いします。

寿命の長さが 新しい苦を生み 物の豊かさが 恵を忘れさせる